

梅雨の季節がやってきましたね。天気の変わりやすいこの時期は気温や気圧の変化で体調も崩しやすくなります。蒸し暑い日が多いですが、衣服調節にいつも以上に気を配り、体調に気を付けていきましょう。

歯科健診結果について

5月30日に歯科健診がありました。

歯科健診では次の項目をみてもらいました

- 歯並び・かみ合わせ
- 虫歯はないか
- 歯垢が付いてないか



今回、受診が必要と医師から指示があった方には、受診報告書をお渡ししています。また受診されましたら報告書の提出をお願いします。

歯科健診は約半年ごとの健診が推奨されています。今回要観察となっている方は特に、かかりつけ医を決めて定期的に受診して歯のチェックをしてもらいましょう！

幼児クラスに歯磨きの保健指導をしました

歯科健診前に幼児各クラスに看護師から歯磨き指導をしました。虫歯のしくみや、歯磨きやうがいやよく噛むことの大切さなどを写真やエプロンシアターで説明し、つばさ・そよかぜさんには実際に前にでて模型への歯磨き実演もしてもらいましたよ。皆よく聞いてしっかり返答してくれていました！現在コロナ対策で園での歯磨きやうがいは行っていません。朝・寝る前の歯磨きを行うことや朝どうしてもできない場合はうがいをしっかりするなどして歯を大切にしましょうね。



梅雨の時期の注意点

■熱中症や脱水に注意

湿度が高くなると汗が蒸発して熱がこもりやすくなるため、この時期から熱中症や脱水リスクが高くなります。すでに5月末から子どもの熱中症が増加しています。通気性の良い薄着で過ごすことや、登園前は朝食をしっかりとり、水分をこまめにとるなどを気を付けて、対策をしていきましょう。

■かぜ・喘息

梅雨時期は気温湿度気圧が変化しやすく、咳が出たり、風邪もひきやすくなります。湿度が高くなりカビやダニが繁殖しやすいため喘息やアレルギーも発症しやすくなります。湿度管理にも気を付けましょう。

感染症状況について

5月から大阪でも感染性胃腸炎が流行しており、当園でも5月は5名が感染されています。今後夏にかけてさらに増加する可能性があります。食中毒が起こりやすい時期ですので、食材管理や調理にも気を付けていきましょう。

すでに熱中症増加がニュースになっていますが、子どもは熱中症や脱水になりやすい特徴があります。

夏の時期の胃腸炎は脱水になるリスクも高まりますので、しっかり水分補給をして、下痢嘔吐など疑わしい症状があるときは無理せず休息し、登園は控えて悪化する前に早めに受診するようにしましょう。

※感染性胃腸炎は登園届が必要になります。受診の際は登園目安を医師に確認してください。

※今後は水遊びやプールが始まりますが、参加は普通便になってからとなります。

※お腹の風邪と診断されることがありますが、基本的に感染性胃腸炎と同じになります。医師にも確認し、感染性であれば登園届のご提出をお願いします。

看護師からのお知らせ

看護師の藤井です。

日頃から保健面・感染面などに関して様々のご協力をいただきありがとうございます。

私事ですが、6月上旬から産休に入らせていただくこととなります。復帰後、また元気な子どもたちに会えるのを楽しみにしています。

コロナ禍でまだまだ通常の生活とはいかないことも多いですが、子どもたちが健やかに成長できるよう、引き続き今後も園生活を送る上でご協力をお願い致します。